

さいたま市長メッセージ（令和3年9月24日）

皆さん、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

本市は、9月22日までの1週間で、248人の新規陽性者が確認され、減少傾向が続いていますが、病床使用率は依然として高く、療養者数はいまだ1,000人を超えている状況です。

今後も、新規陽性者数を減少させ、リバウンドを予防するためには、不要不急の外出自粛など、現在の感染症対策を継続することが重要です。

加えて、感染収束に向けた切り札とされているワクチン接種を更に進めて行く必要があります。今回の感染拡大において、ワクチン接種が一定程度進んだ年代は、接種が始まる前と比べると、感染者全体に占める割合が明らかに低い結果となっています。

本市では、まだ接種率の低い若い方が接種しやすいように、会場の新設や、受付時間の拡大など、接種環境の整備を進めており、市宮桜木駐車場会場をはじめ、各接種会場では、順次予約を受け付けています。予約枠の空き状況等は、市ホームページや、LINE、Twitterなどでお知らせしていますのでご確認ください。

また、さいたまスーパーアリーナ会場では、10月から、受験を予定している方などを対象に、優先接種を実施します。会場では小児科医にご協力いただき、安心して受けられる体制を整えていますので、かかりつけ医等で接種予約ができていない方は、ぜひご利用ください。

みなさまのご協力により、新規陽性者は確実に減少していますが、ここで、
気を緩めることなく、私たちが一人ひとりが、強く意識して基本的な
感染予防策を徹底し、しっかりと新規陽性者数を抑えていきましょう。